



## 国際英語学部国際英語学科国際学専攻

### 教育課程編成・実施の方針

---

---

国際英語学部国際英語学科では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を教養教育課程（全学共通科目）と専門教育課程（学部固有科目）で構成し、実施します。

#### 《教養教育課程（全学共通科目）》

全学共通科目の卒業要件単位数は、40 です。教養教育課程は、全専攻共通になっています。全学共通科目を中心に様々な科目の中から、自然科学、社会科学、人文科学、語学の各領域を満遍なく目的意識を持って自律的に履修することによって、幅広い教養とともに多面的な思考力、論理的思考力、コミュニケーション能力等を養い、豊かな教養人となるために自己研鑽を継続し、社会の発展に貢献しようとする姿勢を磨きます。

#### 《専門教育課程（学部固有科目）》

学部固有科目の卒業要件単位数は、84 です。国際学専攻は、専門教育課程を以下のように編成します。

世界中の英語変種を認め合うという国際英語の視点に立ち、広く世界の社会・文化・思想・宗教をふまえた英語コミュニケーション能力の育成を行います。あわせて、コンピュータ、時事問題の知識等、ビジネスに応用できる汎用性のある知識・技能を涵養し、英語運用能力と国際的視野をあわせ持つ、世界に通じる教養人・職業人を養成します。さらに、英語圏に加えて新興国における研修を通し、語学力、職業上の専門知識及び異文化適応力

を養成します。

## 1. 履修区分に応じて科目群に分類

① 必修科目(52単位)は、学修目標に従って以下のように分類されます。

- A. 学士(国際英語学)にふさわしい知見を獲得し、キャリア教育を目的とする科目群  
「国際英語入門」、「国際キャリア・ディベロップメント」
- B. 基礎的英語運用能力の向上を目的とする科目群  
「Oral Communication I・II」、「Academic Writing I・II」、「英文電子文書作成 I・II・III」、「発音ワークショップ」、「発音法理論」、「Rhythm & Intonation」、「Grammar & Vocabulary」、「Reading Strategies」、「Paragraph Writing」、「Negotiation」、「Explanation」、「Troubleshooting」、「Workplace English」、「Advanced IT Literacy」、「Presentation Skills」、「Essay Writing」
- C. 国際学研究科目群  
「国際学入門」、「国際関係論」、「国際ビジネス論 I」
- D. 初年次教育を目的とする科目群  
「言語技術と論理的思考」
- E. 国際学の体系的理解を深める演習科目群  
「国際学演習 I～VI」

② 選択必修科目(20単位)は、学修目標に従って以下のように分類されます。

- A. 国際学研究科目群  
「比較文化論」、「異文化理解」、「国際経営学」、「国際開発論」、「世界と日本」、「国際ビジネス論 II」、「ホスピタリティ論」、「マーケティング論」
- B. 英語資格講座科目群  
「TOEIC 600」、「TOEIC 700」、「TOEIC 800」、「TOEIC 900」、「TOEIC 1200」、「TOEFL 40」、「TOEFL 60」、「TOEFL 80」
- C. 職業体験科目群  
「海外業界研究 I～VI」、「総合基礎英語」、「総合実践英語」、「論理的思考とプログラミング」、「ICTと言語教育」、「ICTとビジネス」、「海外短期研修 I～IV」

③ 選択科目(12単位)は、国際学について幅広く学ぶべく多岐にわたり展開しています。

- A. 国際学専攻開講科目の特徴として、選択科目には主に国際ビジネス関連の科目、また日本語教授法等国際社会で実際に働くことを想定した諸科目を配しています。「航空ビジネス論」、「国内企業インターンシップ」、「国際地域研究入門」、「世界の宗教と思想」、「日本語教授法 I・II」、「日本語教育実習 I・II」、「交換留学」、「 Semester 留学」
- B. 教員免許状取得のための選択科目として、「英語科教育法 I・II」、他専攻開講の英語学関連、英米文学関連の科目が履修できます。

C. その他、他専攻開講科目の一部を履修できます。

## 2. 進路や関心に応じて3つの履修モデルを提示

### ① 交換留学を重視する履修例

2年次秋学期から3年次春学期の ISEP 留学を中心に、国際社会理解関連、国際コミュニケーション関連の諸科目を履修の根幹に据えます。

### ② 職業体験を重視する履修例

国際的に活躍できるビジネス・パーソンを目指す学生が、カリキュラム内で海外職業体験ができます。その体験とビジネス関連の諸科目を履修の根幹に据えます。

### ③ 教員免許状取得を目指す学生の履修例

国際学専攻が開講する講義・演習・実習により英語教員としての基礎英語力・教養を身につけます。さらに他専攻が開講する英語学系科目・英文学系科目を選択科目として修得できるため、卒業要件範囲内で教科専門科目が修得可能となっています。

## 3. 国際学専攻固有科目の特色

国際学専攻の英語名 Information Technology & International Studies (ITIS)が表すように、国際学専攻では英語で IT 関連のスキルと国際社会・政治・経済・文化について学修する科目がカリキュラムの根幹を形成しています。国際学専攻のカリキュラムで特徴的なのは、実践的な英語授業や日本語と英語で実施される講義を1年次と2年次に集中的に配置し、学生一人ひとりが自分の興味・関心そして意欲によって自主的な学びに参加できる仕組みを提供していることです。海外研修・海外業界研究については、全専攻の中で最も多様な英語使用環境を体験できる研修・研究を揃えています。英語を母語とする英国・北米・オセアニア諸国、公用語としているシンガポール・インド、そして外国語として学んでいる韓国等で研修を実施します。期間は長期・中期・短期があります。

## 4. 学修成果と科目との関係

### ① 国際学研究科目群

外国語系専攻で一般的な人文系科目以外に、国際関係論、地域研究等の社会科学系科目が多く開講されているため、国際社会で通用する複眼的視点や論理的思考力を身につけることができます。

### ② 英語資格講座科目群

学修目的と到達目標を明確にした英語科目が1年次から2年次にかけて集中的に配置されているため、能率的な英語学修ができます。英語力の到達目標は海外留学の学内選考基準を満たすことです。

### ③ 戦略的コミュニケーション科目群

海外を含む学内外での学修や活動を通じて、すべての職業において生涯にわたって有効

な、語学力・文章力・ICT スキル・情報収集力・分析力・論理的思考力・異文化適応性・柔軟性・協調性を身につけることができます。

- ④ 自ら研究テーマを設定し、独自の視点から分析調査し、それに基づいて自身の議論を構築し展開する科目群  
担当教員の学修支援のもと、学生一人ひとりが高い動機付けを維持できる研究テーマを見付け、問題解決に必要な理論と分析方法及び言語表現方法を獲得できます。